



下水道事業運営委員会

暮らしに欠かすことのできない下水道事業の運営に、町民の意見を反映させる下水道事業運営委員会の第2回会議が11月29日に開催されました。本町の下水道会計は、これまでの下水道整備の維持管理費や建設に要した起債償還額（借金の返済）の増大、近年の下水道使用料の減少などから、近い将来赤字になる可能性があります。

今後の健全な下水道運営に向けての意見を求めるため、町長から委員会会長へ諮問しました。

委員会ではこの諮問を受け、下水道事業の現状を踏まえ、望ましい経営のあり方などについて審議していきます。



高島会長へ諮問書の受け渡し

- ◆ 委員会は公開していますので、傍聴することができます。当日、直接会場にお越しください。
- ◆ 会議日程、会議録は下水道課に備えるほか、ホームページにも掲載しています。
- ◆ 担当 下水道課庶務係 (☎23-3542)



協働の指針策定検討委員会

7月から検討を進めてきた委員会は、11月25日に第5回会議を開催しました。

会議では、子供からお年寄りまで「協働の指針」が浸透するように「私が変わる!! まちが変わる!!」をキャッチフレーズに選んだ後、提言書に盛り込む内容を議論しました。

今回は、今までの委員会で出された意見を基に作成した提言書案について、議論を進めます。

主な意見

- ◆ 協働の必要性について
- 協働に参加することにより、自分の住んでいる地域に興味や関心を持つことができ、まちが好きになる。
- 住民が関わることにより、自ら納得することができる。
- 他の人との接点が増え、いろいろな人を知ることができ。
- デメリットとしては、自分の時間が割かれ、煩わしさも伴うこと。
- ◆ 今後の取り組みとして、提言書に盛り込むべき項目
- 人材の育成・発掘
- 町内会、PTAや各種団体のネットワーク化と拠点づくり
- 住民と行政の意識改革
- 子育てや地域福祉など、町全体で見守り支える仕組みづくり
- 住民の意見が行政の施策に反映されるシステムづくりなど

募集

当別町子育て行動計画推進協議会委員

◆ 指針の策定に当たって
○ まず、できる範囲での協働を考え、実効性のあるものを具体化しよう検討した方がいいのではないかな。

◆ 委員会は公開していますので、傍聴することができます。当日、直接会場にお越しください。

◆ 委員会で配付された資料や次回委員会の開催日程は、町のホームページに掲載しています。

◆ 質問や意見をお寄せください。

◆ 担当 企画課企画調整係 (☎23-23393・FAX25-5555)

子供たちが安心して生み育てられる環境づくりを協議するため、子育て行動計画推進協議会の委員を募集します。

協議会では、平成17年3月に策定した「当別町子育て行動計画」に基づいて、町が実施する「次世代育成支援施策」等に対し、町民の立場から具体的な提言をいただきます。

任期 平成18年2月1日～平成19年3月31日

応募資格 次世代育成支援(子育て支援・少子化対策など)に関心がある町民。

応募方法 住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号・簡単な自己PR文と、次世代育成支援に関する自分の考えをまとめた作文(400字程度)を提出。

申込期限 1月20日(金)

募集人数 2名

申込先・詳細 子育て推進課子ども係 (☎23-3024)



みんなでも考えよう！ごみ問題

家庭ごみ減量化・有料化に関する懇談会

11月開催

先月号に引き続き、各会場で行われた懇談会での質疑内容を掲載します。

13日「ゆとろ」「金沢会館」

19日「西当別コミセン」「ゆとろ」

20日「西当別コミセン」

12月開催

1日「春日町会館」

問

アクションプランの目標値まで減量する場合、どの程度の減量が必要か。

答

アクションプランでは「1人1日100グラム」削減する目標を掲げています。例えばこの目標を40リットルの袋で換算した場合、4人世帯で1カ月当り2袋程度の削減量となります。

問

ごみ処理施設へ直接搬入する場合も、手数料が掛かるのか。

答

指定ごみ袋でステーションに出すごみには、収集運搬費とごみ処理費の一部を負担していただくこととなりますので、直接処理施設へ搬入する場合は、焼却や破砕などごみ処理費のみの負担となります。（ごみの収集運搬費用は除かれます。）

問

戸別収集の方がよいと思うが、将来ステーション方式をやめないのか。また、戸別収集にする場合、どの程度の負担になるのか。

答

粗大ごみは、電話で申し込みを受けて、軒先から収集する考えですが、それ以外のごみは、基本的にステーション方式を継続する考えです。現行のステーション方式での収集・運搬費用は、約7千円ですが、戸別収集する場合は、その倍くらいの費用がかかるかと試算しています。

特に、生ごみが入っている燃やせるごみは午前中に回収する必要があります。限られた時間内に戸別収集を完了するには、収集車の増車や作業員の増員が必要になるからです。

問

分別種類を増やす予定はないのか。

答

ペットボトル以外のプラスチックについては、排出状態や処理ルートを調査して費用に合った効果が得られるかを検討していきたいと考えています。また、雑紙のリサイクルについて調査・検討中です。



懇談会でごみ袋の説明を熱心に受ける出席者。

問

白色トレイの回収箱設置店は、町内に1店舗しかないがどう考えているのか。

答

トレイの使用店に、回収箱設置の働きかけをしていきます。

問

マンションに住む人のごみ管理はどうなるのか。また、学生のごみの出し方が不適切で困っている。

答

マンション専用の箱などを設置し、管理者の責任で管理していただくように働きかけます。学生への対応は、大学側が新入生に対しガイダンスを行っているので、町もPR活動に協力して行くことを考えています。

問

指定ごみ袋のサイズや種類はどのようにするのか。

答

指定ごみ袋を一種類とし、サイズは、10・20・30・40リットルの4種類を考えています。各市町村で様々な工夫をしていますが、ごみ袋を種類別に設定すると、たくさんのごみ袋を買い置くことになり、皆さんの負担となりますので、簡単で無駄の少ない方法だと考えています。

訂正

広報とうべつ12月号の13ページの「年末年始の休業日のお知らせ」の中で、一般家庭ごみ収集の休業日に誤りがありました。

訂正し、お詫びいたします。

誤	正
12月31日～ 1月3日	12月31日～ 1月4日

詳細は家庭ごみ分別カレンダー参照。

担当 環境対策課（☎23-2503）